

課題名：日米医学協力計画を基軸としたアジア地域にまん延している急性呼吸器感染症に関する研究

公表年月日：平成 30 年 10 月 24~26 日

公表の方法： 第 77 回 日本公衆衛生学会総会 一般演題ポスター発表

公表の題名：神奈川県で分離された肺炎マイコプラズマの遺伝子型別

公表内容の概要（400 字以内）：神奈川県で分離された肺炎マイコプラズマについては、従来から P1 蛋白遺伝子型別、薬剤感受性試験、マクロライド耐性遺伝子変異の分析等を実施している。近年、Multiple-Locus Variable-Number Tandem-Repeat Analysis (MLVA) による遺伝子型別が開発された。この型別法は、多くの型に分類され、識別能が高く、数値化によるデータの比較が可能である。そこで、MLVA の有用性を検討するため当所保存の臨床分離株の遺伝子型別を実施した。その結果、MLVA 型別は、P1 蛋白遺伝子型に比べ、識別能が高く、多種類に分類することができた。